

らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ



● 常木らくだ ●

8月になりました - 2014.08.01 Fri

今日から8月になりました！

外出が多くなるこの時期の息抜きに、または旅行の移動中に、らくだ図書館はいかがでしょうか？

らくだ図書館（31）

<http://p.booklog.jp/book/88582>

今回の表紙は灰色です。

現在の自分の気持ちを、色で表現してみました。

何しろ先月は、「過去最高の出来、6年間の集大成」と思って投稿した作品が、あっさり1次で落選しましたからね……。

まあでも。

どれだけ深く悲しんでも、ダメだったという事実は、もう取り消せないわけです。

それならそれで、この言葉にできないほどの無力感を、心の中心にしっかりと刻み付けようじゃないか、と。

そんな決意を込めて、これから半年使う表紙に、灰色を選んでみました。

というのは、今とっさに考えた後付けのネタで、本当は表紙のテンプレートを使い果たしてしまい、グレーしか選択肢がなかっただけです（汗）

厄介だな……。

もう色が無いから、次は自作しなきゃ……。

とにかく、今日から8月で、まさに夏本番です！

先月は悲しかったですが、また気持ちを切り替えて、前へ歩き出したいと思います。

こんばんは、らくだです。

集英社ライトノベル新人賞の、1次選考結果が発表されました。

【発表ページ】

<http://dash.shueisha.co.jp/award/result.html>

応募総数 611作品

1次通過 167作品

通過率 約27%

うわあああん！

オイラの名前がないいいい！

って、今回は送ってません（爆）

いや。

SDには毎回投稿しているので、是非とも送りたいかったです。

ただ、4月に締切りが新設されることがわかったのが、たしか今年の冬ぐらい？だったじゃないですか。

で、4月には電撃やえんためがあるので、その段階で「是非参加したい！」と思っても、投稿予定に組み込むのが不可能だったという。

まあそういうわけなので、秋の締切りには参加します。

そして来年の春の締切りにも、できれば参加したいですね。

あと最後になりましたが、1次通過された皆様は、おめでとうございます！

2次発表は8月中旬らしいので、楽しみに待ちたいと思います。

こんばんは、らくだです。

えんため大賞&ガールズノベルズの、最終候補作が、8月1日（金）に発表されました。

【えんため大賞】

<http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/index.html>

しかし……。

2次発表が7月25日で、最終が8月1日って、間がなさすぎですね……。

せっかく通過した喜びも、5日間で終わりーみたいなの。

いや、何度もしつこく言う通り、自分は1次で落ちてるんですが（汗）

何はともあれ、最終組の皆様はおめでとうございます！

今はまだ遠いですが、自分もいつの日にか、ファイナリストになりたいものです。

それから、それから。

リニューアル後の新・応募要項が、同じく8月1日に公開されました。

詳しくは上記アドレス参照ですが、少年向けが「ファミ通文庫部門」に、少女向けが「ビーズログ文庫部門」に、それぞれ名称変更するみたいです。

あと、ウェブ投稿が可能になります。

ただ、締切りや規定枚数や選評の有無など、基本的な部分に変更はない模様です。

うーむ……。

個人的には、締切りが増えてくれたら、非常に嬉しかったんですけど……。

まあでも、あまり頻繁に締切りがあっても、すべてには投稿できないですからね。

来たる来年の4月に備えて、また少しずつ、頑張っていこうと思います！

うーん……。

えんため大賞、リニューアルしたけれど、大幅な変更はなかったなあ……。

と思って見ていたら、な、な、何ですかコレは一！？

【えんため大賞・ゲームエッセイ部門】

<http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/gameessay.html>

詳しくは上記ホームページに色々書いてありますが、まあ簡単に言っちゃうと、ゲームのエッセイを募集しているようでございます。

しかもね。

ブログでオッケーみたい。

つまりこの場所に、ゲームの体験記をたくさん書いて充実させれば、オイラでも応募できちゃったりするわけですよ……？

いやはや！

これはもう、是非とも参加したいですね！

ただ、募集内容がザックリしすぎて、ちょっと戸惑うのが正直なところ。

せめてゲームのジャンルとか、エッセイの枚数（目安だけでも）とか、なるべく細かい指定があった方が、逆に参加しやすいんですけどね……。

まあでも、こんなに心がときめいたのは、正直言って久しぶりの経験です。

前に何度か書きましたが、今までずっと、エッセイの投稿先を探してましたからね！

いつも口先だけになってますが、今回は本当に、参加を検討しようと思います。

こんばんは、らくだです。

H J 文庫の読者グランプリが、とうとう始まった模様です。

【公式サイト】

<http://yomeru-hj.net/>

ちなみに読者グランプリとは、「最終選考に残った投稿者のうち、参加を希望した5名前後がエントリーし、投稿作とは違う新作をH Jのホームページで公開の上、読者に人気投票してもらう」というイベントです。

とはいえ詳細については明らかではなかったので、投稿者の間では、「どうなるんだ？」という意見が出ていました。

何しろ、初めてのイベントですからね。

しかし、こうして第1回が始まったことで、かなり色々な部分が見えてきました。

- ・ エントリー作品は5本
- ・ 投票できるのは1日1票
- ・ 1位になった作品は出版確約
- ・ 投票の締切りは9月12日（金）
- ・ 投票は誰でも可能で、登録などは必要ない
- ・ 各作品は毎日（平日のみ）少しずつ公開されていく
- ・ アドレスを入力の上コメントすると、抽選でプレゼントがもらえるらしい

という感じです。

また何か情報がわかったら、追記で書こうと思います。

まあ本音を言うと、このイベントには、書き手として参加したかったですけどね……。

それが叶わなかった以上、今回は一読者として、経過を追いたいと思います！

少し前に私用で郵便物を送る時、家庭用の計量器で重さをはかってみたら、ちょうど「25.00g」と表示されました（汗）

こ、これは……。

何も狙ってないのに、ぴったりの重さ……。

っつーかコレ、82円で大丈夫なの？

郵便局のサイトには、「25gまでは82円」って書いてあるけど、何かちょっと不安。

使う計量器によっては、1gや2gくらい、増えるかもしれないし。

で、悩んだ末に窓口へ持って行ったら、やっぱりちょうど「25.00g」で、82円で送ることができました。

いやはや。

ぴったりの重さの場合は、「25gまで」に入るんですね。

窓口のスタッフに確認して、ようやく安心できました。

ちなみに何故こんな話を書いたかと言うと、郵便料金については、原稿を投稿する時によく悩むからです。

120枚程度の小説原稿を封筒に入れると、ちょうど500g前後になるんですね。

それでいつも、切手の金額に悩んで、結局窓口へ持って行くパターン。

まあ最近、レターパックという便利な物があるので、重さを気にする機会もめっきりと減りましたけれど。

とにかく、ぴったりの重さになった時は、「～g以内」の料金で大丈夫です。

切手で投稿する人は、たぶん少ないと思いますが、覚えておいて損はないでしょう。

皆様、こんばんは。

当ブログ「らくだ図書館」は、おかげさまで、更新950回を迎えました。

いやー……。

950回っすよ……。

これまでブログに使った時間を、すべて小説執筆に使っていたら、間違いなく10作品くらい書いてますね。

実際のところ、そういう意見をいただいたことも、過去にあります。

「本当に作家になりたいなら、投稿ブログに時間を使ってないで、その時間に執筆した方がいいんじゃないですか？」と。

くっ……！

その指摘、あまりにも正論すぎる……！

まあでも、マジレスすると、ですね。

自分が作家になりたい理由は、「自分の考えを文章で表現して、それを多くの人に読んでもらって、楽しんでもらうのが好きだから」なんですよね。

それができるなら、伝える形態は小説でもブログでもよくなって、両者の間に優劣は存在しないと思うわけです。

まあ、つまり。

自分の中では、ブログは小説のオマケじゃなく、それ自体が主役級の存在なんです。

そういうわけなので、いつまで続けられるのかわかりませんが、今後も力の続く限り更新していきたいと思います！

本日、電撃の2次発表がありました。自分の作品はRAKUSENでした！

うん。

ローマ字表記を使って、ダメージを減らそうと思っても、胸の痛みは消えないね。

どうでもいいですが、エッチという単語の語源は、HENTAIの頭文字の「H」だっただけですか？

この法則にしたがって、これから落選をアールと表現しようと思ったけれど、「R」は自分のイニシャル（本名も筆名も）なのでやっぱりやめておきます。

え？

リンクと通過率の計算？

はいはい、しますとも、すりゃーいいんでしょ？（超なげやり）

【2次発表ページ】

http://asciimw.jp/award/taisyo/announce_21_02.html

応募総数 5055作品

2次通過 217作品

通過率 約4%

2次通過された皆様は、おめでとうございます。

このまま一気に受賞まで駆け上がり、オイラの無念を晴らしてください。

まあ、でも。

RAKUSENは非常に残念でしたが、この悔しさを立ち上げる原動力にして、次の投稿へ繋げていきたいなーと思います。

こんばんは、らくだです。

最近非常にバタバタしており、ロマン大賞の結果を、まだ確認できておりません。

「お前はそれでもワナビなのか？」と、叱責を受けそうな状況ですが、本屋へ行く余裕がなかったんです。

まあ、仕方あるめえ。

そのうち選評が届いたら、結果については、イヤでもわかるだろう。

なんて思っていたら、選評が届きましたよ！

さあ、さっそく開封。

自分は何次まで行けたのか……、ん？

あ、あれ？

選評をよーく見ても、何次選考で落ちたのか、どこにも書いてないよ？

<衝撃の事実>

ロマン大賞の選評には、「何次で落ちたか」が、記載されていない！

ってわけで、自分の最終的な成績は、いまだに不明の状態です。

コメントを読む限り、1次落ちだったんだらうと、想像はできますが。

わたしだけが、わたしの落選を、ああー未確認〜♪

それにしても、コバルトさん。

年齢欄も性別欄もないから、成績の欄を作ってくれませんか？

自分の年齢や性別は、選評に書かれなくても、充分に知ってますから……。

こんばんは、らくだです。

小説創作支援サイトのノベルジムにて、「ノベルジム大賞」が開催される模様です。

【ノベルジム大賞】

<http://novelgym.jp/contest/novelgymgp2014>

締切り : 2014年11月10日

字数制限 : 7万～12万字程度

選考段階 : 1次→2次→最終

募集テーマ : 下記5部門

(SSSノベル賞 / ワナビノベル賞 / 逆セカイ系ノベル賞 / リスペクトライトノベル賞 / 自由テーマ賞)

各テーマの詳細はリンク先へ……って、あれ？

おい、待てよ！

ワナビノベル賞だと！？

なるほど……。

ついに、『激烈ワナビ戦』の出番が来たわけか……。

というわけで、テーマも文字数もほぼ合致した作品を持っているので、この機会にネット小説デビューもいいなあーと思うのですが。

でもね。

厳密に言うと、ワナビの物語じゃないのよね、『激烈ワナビ戦』って。

ある意味タイトル詐欺ですが、少し手直しすれば大丈夫かな？とも思うので、参加を前向きに考えてみようと思います。

「ロマンの結果がわからない」という話を書いたら、記事を更新した直後、親切な方がメールで教えてくださいました！

ありがとうございます。

割と真面目に困っていたので、情報提供に助けられました。

そんなに困る前に雑誌を買って話なんですが、近所の書店にはコバルトが売っておらず、電車に乗って大型書店へ行く機会もなく、困り果ててブログに書いてみたわけです。

え？

結局のところ、結果はどうだったか？

それはもちろん、ICHIJI-RAKUSEN ですッ！

まあねえ……。

選評のコメント欄に、「残念な作品だった」って書かれたし、そりゃあ1次落ちですよ……。

あと、他のレーベルの選評ですが、「期待外れ」とか「肩透かし」とか、マジで書かれた経験もありますね。

どうも、こんにちはー！

皆様の期待を裏切る、常木らくだですー！

……元気に自己紹介してる場合じゃねーよ、っていうね。

とにかく自分の書く作品は、序盤のつかみは割といい（期待を持たせる）反面、中盤から終盤が盛り上がりずに期待外れーって感じらしいので、気を付けようと思います。

ま、気を付けたからといって、すぐに直るわけでもないんですが（汗）それでも、大きな弱点の一つとして、意識は常にしておこうと思います。

「読者グランプリ」という単語で、検索&訪問してくださる方が多いので、もう一度リンクを載せておこうと思います。

【H J 読者グランプリ】

<http://yomeru-hj.net/>

しかし、これ……。

書き手の立場から見たら、なかなか怖いイベントですよ……。

一番怖いと思うのは、単位こそ非表示ではあるものの、現在の順位が棒グラフで表示されるっていう部分。

いや。

怖いって言うよりも、ストレスになりそうと言った方が、より正確でしょうか。

だって、ほら。

ブログやアルファポリスにも順位は表示されますが、それは別に誰かと競争しているわけじゃないので、増えても減っても冷静な目で見ていられます。

でもこのイベントは、「1位になったら出版確約」なわけで、他の4つの作品に勝たなきゃいけないわけですよ。

そう考えると、書き手にとっては酷なイベントだな、と思います。

まあでも、ストレスになりそうだと思う反面、ああいう形で自分の作品を披露できるのは、非常にうらやましいと思うのも事実であって。

今回のH Jは残念ながら落選でしたが、次回投稿する時もまた、「参加希望」で挑戦しようと思います！

数日前に「ノベルジム大賞」の紹介をしましたが、それとは別に、「作品発掘プロジェクト」が始動した模様です。

【ノベルジム作品発掘プロジェクト】

http://novelgym.jp/news/news_detail/314

詳しくは上記参照ですが、要点を簡潔にまとめると、

- ・ 締切り等はなく、継続的に開催
- ・ ノベルジム掲載作品の中から、選考委員が、「これは」と思う小説を選出
- ・ その作品について、作者・出版社と共に、書籍化を進めていく
- ・ ある日突然、ノベルジムから連絡が来て、あっという間にデビューできるかも？
- ・ 決まり事だらけのコンテストなんか大嫌い！というアナタにオススメ

まあ、色々ありますけれど、一言で説明すると【スカウト】ですね。

……………。

なんかねえ……………。

新潮 nex 大賞の時に心底思ったけれど、自分の意思でどうこうできないものを、「賞」や「コンテスト」と呼ばないで欲しいですね。

ああ、いえ。

ノベルジムさんは、「プロジェクト」と呼んでいるので、まったく問題ないんですが。

とりあえず、自分はワナビノベル大賞の方に参加する予定なので、このプロジェクトは見送りかなーという感じです。

なので今回は不参加ですが、こういったプロジェクトが起爆剤になって、業界全体がさらに盛り上がっていけばいいなーと思います。

本日はフィギュアスケートの話題です。

すでに毎年恒例となっている、「関西大学フィギュアスケートエキシビション」が、今年は秋に開催されます！

【告知ページ】

http://www.kansai-u.ac.jp/mt/archives/2014/08/post_1041.html

日時 : 9月7日(日) 13:00 ~ 17:00
参加費 : 無料
開催地 : 関西大学アイスアリーナ
招待人数 : 50組 100名(多数の場合は抽選)
参加方法 : 運営事務局へ往復ハガキで申込み
応募締切 : 8月26日(火) 必着

50組 100名というと、かなりの高倍率。

ですが、エントリーする価値は、充分にあると断言できます。

何しろ出演予定者は、宮原知子選手、織田信成さん、本田武史さんなど、「本当に無料で見ていいの？」と問いたくなる豪華な顔ぶれ。

それに普段は一般公開されていない、関西大学アイスアリーナに入れるだけでも、ファンにとっては感動的な体験だと思います。

ちなみに高槻市民の方は、特別枠で申し込みが可能。

詳細は高槻市のホームページへ……。 ([こちらをクリック!](#))

というわけで、今回のこのイベント、自分もさっそく申し込みました。

投稿は落選の連続ですが、このイベントには落ちないように、当選を祈りたいと思います！

こんばんは、らくだです。

集英社ライトノベル新人賞の、2次通過者が発表されました。

【発表ページ】

<http://dash.shueisha.co.jp/award/result.html>

応募総数 611 作品

2次通過 49 作品

通過率 約8%

2次通過された皆様は、おめでとうございます！

惜しくも落ちてしまった皆様も、あきらめずに次へ行きましょう！

そして、そして。

同じくスーパーダッシュ（集英社）から、新レーベルの設立が発表されました。

告知そのものは前から出ていましたが、このたび、公式サイトがオープンしたようです。

詳細は下記へどうぞ。

【ダッシュエックス文庫】

<http://dash.shueisha.co.jp/dx/>

説明を読んだ限り、まあ、キャラノベルですね。

MWや富士見のラノベ文芸よりは、ややラノベ寄りな印象を受けますが。

しかし、何より。

新レーベルを作るなら、同時に新人賞も作って欲しいのが、投稿者としての本音です。

今のところ情報はないようですが、可能性はゼロじゃないはず……！

そう信じて、今後の動向を追いたいと思います。

こんばんは、らくだです。

G A 文庫大賞（前期）の 1 次通過者が発表されました。

【発表ページ】

<http://ga.sbcr.jp/novel/taisyo/07/index01.html>

応募総数 472 作品
1 次通過 142 作品
通過率 約 30%

G A さんは「3 本に 1 本の割合で通しますよ」と、だいぶ前に編集者さんが宣言していたと思いますが、こうして見ると今回もその通りの通過率です。

うん。

1 次通過者が約 3 割って、他の新人賞に比べたら、すごく親切な設定ですよ。

まあ、そんな親切な中でも、自分の作品は全滅したけどね！

2 年前の話だけど、ショックが大きかったから、何度でも言うよ！

いや、うん……。

選考はくじ引きじゃないし、1 次で 4 本が全滅したのは、自業自得なんですけれど……。

何はともあれ、通過された皆様は、おめでとうございます。

どうかこのままデビューまで進んで、2 年前の私の無念を晴らしてください。

それにしても、春に締切りが多いただけあって、さすがに夏は発表が多いですね。

他にも経過発表が近付いている賞が多数あるので、自分の作品はすべて落ちてしまいましたが（涙）、引き続き情報を追っていきたいと思います！

この賞、絶対に参加しよう！

封筒に宛名を書いて、切手も貼って、さあ準備オーケーだ！

ああ、それなのに……。

原稿が間に合わず、結局は投稿できず……。

これって、よくあるパターンですよ。

他の方々の状況は知りませんが、少なくとも、自分の場合はしょっちゅうです。

そんな時は、郵便局へ持って行けば、新しい切手に交換してもらえます。

手数料が必要ですが、無理に剥がして汚くなるよりは、新品に換えた方がいいでしょう。

【はがきや切手の交換について】

http://www.post.japanpost.jp/service/standard/kaki_sonji/index.html

切手の場合、1枚につき手数料は5円なので、割と気軽に交換できますね。

レターパックの場合は、1枚につき41円もするので、ちょっと悩むところです。

ちなみに先日、間に合わなかった封筒を持って、郵便局へ交換に行ったんですが。

切手の部分だけ切り取られて、封筒そのものは、律儀に返してもらえました。

いや、そのまま捨てて欲しいんだけど……。

切られた封筒の残骸だけ返ってきて、間に合わなかった哀愁が倍増するし……。

と、窓口のお姉さんに言ってみたんですが、個人情報なので封筒は預れないそうです。

ちなみに、「未使用切手⇒レターパック」なんていう荒技もできるので、中途半端な金額で使いにくい切手などは、レタパに換えて投稿に使うのもいいかもしれません。

以上、特にオチはありませんが、郵便に関する豆知識でした。

こんにちは、らくだです。

先月末の出来事です。

とある会合の出欠確認を取ったんですが、2週間ほど返信のない知人がいたんです。

それで、失礼だとは十分に承知しつつ、催促のメールを送ったんですよ。

普段なら返事が来るまで待ちますが、それは締切りのあるイベントだったので。

しかしそれでも音沙汰がなく、仕方なくその人の親友経由で連絡してもらったら、1週間くらいして非常に長いメールが届いたわけです。

返事は予想通り不参加でしたが、ものすごく丁寧な文面でした。

時間をかけて言葉を選んだことが、一読しただけで伝わってきました。

いや、でも……。

欠席の2文字でいいから、早めに連絡をくれた方が、幹事としては嬉しかったな……。

ああ、別にグチじゃないですよ。

自分も返信は遅い人間なので、間違っても、文句を言える身ではないですし。

ただ何が言いたいかというと、メールの短い文章を読んだ的確な返信を判断するのは、非常に難しいことだなあーと。

内容はシンプルでいいから、すぐに送信すべきなのか。

ちょっと時間をかけてでも、丁寧な内容にするべきなのか。

これだけ毎日、文章と接する生活をしていても、それでも失敗の連続ですもんね。

というわけで、非常に難しいことではありますが、相手の意図を正確に読み取れるように、自分自身も気を付けようと思いました。

何気ない気持ちで、来月のカレンダーを確認したら、こんな予定が……。



ああん？ 電撃3次・4次発表やと？
うるさい黙らんかい、ワシはすでに落選や！

というわけで、カレンダーにブチ切れ。
でも書き込んだ犯人は、間違いなく自分自身。

いや、だって……。
今年は自信があって、絶対に最終まで行けるって、信じていたから……。

っていうか、正直なところ、去年も同じ経験をしたんですが（汗）
それで、通過するまで予定は書かないって、猛烈に反省したはずなんですが（滝汗）

そんな成長できない自分ですが、この書き込みを見て臥薪嘗胆するため、今年は消さないでおこうと思います。

去年は修正テープで消したんですけどね。
100円ショップの安物だったせいか、消した後もうっすら見えましたけれど。

とにかくまあ、自分が落選した後の発表は、いつになっても悲しいものです。

という感じで話をまとめつつ、こういうドMプレイは割と好きなので、来年の手帳にも書き込むつもり満々です。

やっぱり、3度目の正直と言いますからね。
3次・4次や最終発表のスケジュール記入が、来年こそは役に立って欲しいと思います。

こんばんは、らくだです。

新しい自転車を買って、テンションが上がっています。

えへへ、せっかくだから、軽くお出掛けしようかな！

で、試しに府立図書館まで行ったら、予想外にめちゃめちゃ遠くて、片道だけで1時間半かかりました（爆）

ちょ、待てよ！

往復3時間とか、軽いお出掛けじゃなくて、ただの苦行だろ！

とはいえ、乗り捨てるわけにもいかないの、合計3時間ほど自転車で疾走しました。

帰宅後に距離を調べてみたら、約30キロだったみたいです。

つ、疲れた……。

尻と腰が猛烈に痛い……。

まあ、アレですね。

自分はもうちょっと、後先をよく考えてから、行動をした方がいいですね。

昨日のスケジュール記入の件といい、テンションが上がるとつい余計な行動をして、後で自分の首を絞めることになりますからね（汗）

あ、ちなみに常木らくだは、自転車にちゃんと乗れます。

知り合い全員に、「常木さん乗れないでしょ？」と聞かれるので、一応ここで宣言。

何故なんだ……？

いかにも自転車で転びそうなイメージなのか……？

とにかく、予想外の運動をして疲れたので、今夜はゆっくり休もうと思います。

近ごろ雑談記事ばかり書いていたせいか、「常木さん、本当に投稿してますか？」と、真面目に質問されてしまいました（汗）

いや、ちゃんとしてます！

ちゃんとしてるけど、どこにも名前が載らないから、してないように見えるだけです！

これ、本当に切ないですよね……。

たくさん投稿してるのに、落ちると名前が出ないから、頑張りが見えないっていう……。

かといって、落選者名を公開されても、それはそれで深刻な人権問題だと思いますが。

ええ、コホン。

余計な前置きはさておき、今月は、野性時代に投稿しました。

お節介かもしれませんが、応募要項はこちらです。

【野性時代フロンティア文学賞】

<http://www.kadokawa.co.jp/contest/frontier/>

この賞のトリッキーな点は、「当日消印有効」ではなく、「締切日必着」という部分です。

しかも今年は、月末が土日に重なるせいか、8月29日（金）必着となっています。

ちなみに去年の自分は、「必着」に泣かされて1本諦めたんですが、よく考えたら野性時代ってウェブ投稿もできるんですよ。

テキストデータ完成が当日でも、ウェブ投稿なら、ポチッと参加できたじゃんか……。

いやまあ、もう終わったことだし、今さら別にいいんだけど……。

とにかく、今年は余裕をもって応募できたので、受賞&デビューを祈ろうと思います！

こんばんは、らくだです。

自転車に3時間乗った後、尻が猛烈に痛かったんですが、痔にはなりませんでした。

ま、そうだよね……。

締切り直前は、1日中ずっと座りっ放しだから、そりゃ尻だって頑丈になるさ……。

あと尻の話といえば、「人見知りみたい」と書くべき箇所が、「瞳尻見たい」に誤変換されたことがあります。

瞳でお尻が見たいなんて、下品すぎて、もうドン引きですよ！

何度も繰り返し言いますが、これはあくまでも誤変換で、自分の願望じゃありませんよ！

えーと、さて。

尻の話ばかりもアレなので、さっさと本題へ進みましょう。

お礼を言うのがすっかり遅くなってしまいましたが、親切な方が、このブログのハッシュタグを作ってくださいました！

「#らくだ図書館」

らくだはああ言ってるが、オレはこう思うんだぜ……。

ちょっと感想があるけれど、わざわざメールを書いて、伝えるほどでもないなあ……。

そんな時は是非、「#らくだ図書館」のタグで、気軽に呟いてくださいませ。

特に賞品は当たりませんが、たくさん呟いてもらえると、常木らくだが嬉しがります。

それにしても、素人が趣味でやっているブログなのに、まさかハッシュタグまで登場するなんて、本当にありがたい話ですよ。

至らない点ばかりの自分ですが、これからも皆様に楽しんでもらえるように、精一杯がんばろうと思います！

以前も紹介しましたが、つるみ犬丸先生のデビュー作品、『駅伝激走宇宙人その名は山中鹿介！』が、メディアワークス文庫より本日発売されました。

さっそく書店で購入して、記念写真を撮りました。

さりげなく、自分のブログ本も置きましたが、全然さりげなくないですね。



発売日にネタバレを書くのは無料なので、具体的な感想は後日またアップするとして、今日はまず全体的に思ったことを。

まず、この作品を一言で表現すると、間違いなく「青春」だと思います。

涙あり笑いありとは、よく使われる表現ですが、まさしくそれです。

思わず笑ってしまう、ギャグパートあり。

それとは逆に、しみりと切なくなって、深く考えさせられるシーンあり。

作家志望者として凄いなーと感じるのは、それらがまったく少しの違和感もなく、どちらも作品の重要な構成要素になっている部分です。

一言で表現すると、ギャグとシリアスのバランスが神業レベル、という感じです。

言葉にすると簡単そうに聞こえますが、これが可能な人はそういないと思います。

一つの作品に両方の要素を詰め込むと、絶対に浮いてしまうんですよねえ……。

自分はいっつも、その点で苦労してますし、評価シートでも指摘されますし……。

ちなみに作品の一部分は、MWの公式サイトで、立ち読みができちゃいます。

<http://mwbunko.com/books/978-4-04-866869-9/>

立ち読みといっても、数行だけではなく、かなり長い部分です。
この記事を見て、ご興味を持たれた方は、是非実際に読んでみてください！

こんばんは、らくだです。

あれだけ大変な苦勞をしたのに、懲りずに、自転車に乗り続ける毎日です。

で、今度は市立図書館へ行ってみたら、逆に拍子抜けするくらい近くって、10分もかからずに到着しました（汗）

うん……。

最初からこっちへ行けばよかったね……。

合計30キロの府立図書館とか、トライアスロンの距離だもんね……。

まあでも、自転車って色々と危ないので（事故とか盗難とか）、近距離でも気を抜かないようにしたいです。

さてさて。

前置きが長引きましたが、スニーカーの2次通過作品が、公式発表された模様です。

【発表ページ】

<http://www.sneakerbunko.jp/award/index.php>

というわけで。

2次通過された皆様は、おめでとうございます。

スニーカーさんは相変わらず、2次通過が24本という激戦ですが、そんな中で自分の作品が通ったら、大きな自信になりそうですね。

ま、そういう自分はいつも通り、1次でサヨナラでしたけどね！

どこに何を送っても、必ず1次で落ちるとい、非常に安定した成績です（白目）

それはともかく、次回更新（3次発表）も、楽しみに待とうと思います。

お願いします。

とりあえず何も言わずに、この数字を見てください。

【資格試験の合格率】

18.4 % 税理士

15.3 % 宅建

11.7 % 通関士

10.1 % 行政書士

8.9 % 公認会計士

5.4 % 社労士

3.5 % 司法書士

0.5 % 小説の新人賞の受賞確率（1,000本のうち、5本が受賞と仮定）

わあ。

今日から小説を書くのをやめて、税理士を目指そうかなあ（棒読み）

いや、でもホントね。

真面目な話、無意味な比較だってことは、自分で十分にわかってますけどね。

しかしこの数字を見ると、我々投稿者は途方もない勝負をしているんだと、しみじみ実感せずにはいられません。

っていうか、この状況でデビューしていく人達って、神ですか？

うん、きっとそうですね。

あまりにも凄すぎて、人間とは思えません。

ちなみに合格率のデータは、『ケイコとマナブ 10月号』より。

特にオチも教訓もありませんが、とりあえず、書いてみたかった記事でした。

こんばんは、らくだです。

バレバレだと思いますが、数日サボっていた分を、まとめて更新しています。

この状況、何かにすごく似ていると、最近ずっと考えていたんですよ。

たまっていたモノを、まとめて片付ける……。

えーっと、これはそう、便秘に似ているのかな……。

で、「便秘スタイル」なんて冗談を書いたわけですが、そうじゃなくて他にもっと正解があるような気が。

それが今日、近所の小学生を見て、ようやくピンとききました。

忙しくて書けなかった日記を、8月の最終週にまとめて書く！

これはそう、まるで「夏休みの日記」じゃないか！

というわけで。

最近のらくだ図書館は、夏休みの日記スタイルで、皆様にお届けしております。

けどまあ、夏休みらしい行動なんて、今年は何もしなかったですけどね（汗）

海にもプールにも行けなかったし、淀川花火大会は台風で中止だし。

唯一の思い出といえば、家の近所の夏祭りへ行って、ちんちん焼きを食べたことです。

あ、えっと。

ちんちん焼きというのは、ベビーカステラの異名であって、アヤシイ物ではありません。

とにかくもう、8月も終了間近。

更新ペースが不安定ですが、来月以降も頑張りますので、皆様よろしくお祈りします！

こんばんは、らくだです。

えんため大賞&ガールズノベルズの、受賞作が公式発表された模様です。

【えんため大賞】

<http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/awards/16n.html>

【ガールズノベルズ】

<http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/awards/16gn.html>

作品名などの詳細は、上記リンクへどうぞ。

しかし、少年向けのコメントに、「原点回帰がモットーの今年は“青春色”強めの3作が受賞しました。」って書いてあるんですね。

ちょ、待っ……！

そんなモットーがあったなら、募集段階で教えてくれよ……！

というのが本音ですが、よく考えたら自分の1次落ち作品も、“青春色”は強めでした。

つまりモットーを知っていても知らなくても、自分は結局1次落ちだったということで、小説投稿の世界は残酷だなあーと改めて思います。

残酷な天使の落選通知。

それはさておき、受賞された皆様は、おめでとうございます。

作品内容や総評等の詳細は、10月に公開らしいので、楽しみに待とうと思います。

それからえんためといえば、今月下旬に、ウェブ受付が始まりました。

締切りはまだ先ですが、次回参加予定の皆様は、チェックしてみたいかがでしょうか。

こんばんは、らくだです。

今回はフィギュアスケートの話題です。

公式サイトとまったく同じ情報ですが、最近アイクリ関連の検索がものすごく多いので、一応ここで紹介しておきます。

【アイスクリスタルご入会エントリー頂きました皆様】

http://www.icecrystalnet.com/genaral_news/entry/20140829100016.html

*定員は 300 名ということでしたが、応募多数で抽選になったようです。

*当選者には、8 月 28 日（木）に入会案内の資料を発送したそうです。

*落選者には、9 月 3 日（水）に落選通知のメールが送られます。

*当選・落選に関する問い合わせは、9 月 4 日（木）以降受け付けるそうです。

というわけで。

仮に当選していれば、今週の金曜～来週の月曜頃に、入会案内が送られてくるはず。

これ、すごいドキドキしますね。

先行販売の結果発表時もドキドキするけど、あれは更新日時が正確に決まっているから、その時間にサイトにアクセスすればいいじゃないですか。

けど今回は、郵送（いつ来るか予想不能）なので、数日間ずっとドキドキが続くっていう。

これは小説投稿に例えるなら、電話待ちのドキドキですね！

まあ電話待ちの経験なんて、一度もしたことないですけど！

とにかく入会案内が届くのは、仮に当選していれば、ここ数日以内のはずです。

エントリーした皆様は、いつも以上に気合いを入れて、郵便受けをチェックしましょう。

レストランで食事をしていたら、真横のお客さんがトンカツを半分残したまま帰ったので、こっそり食べようか真剣に悩んだ常木らくだのブログはこちらです。

いや、実際は食べませんでしたよ。

天井に監視カメラがないか、確認はしましたけどね。

えー、コホン。

余計な前置きはさておき、G A 前期の 2 次結果が、公式発表された模様です。

【発表ページ】

<http://ga.sbcr.jp/novel/taisyo/07/index01.html>

応募総数 472 作品

2 次通過 22 作品

通過率 約 5 %

2 次通過された皆様は、おめでとうございます！

しかしまあ、あの賞でもこの賞でもお名前を見る方は、いい意味で恐ろしいと言うかなんと言うか、自分も本当に見習いたい限りです（汗）

いや、もうね。

人のトンカツを食べたら犯罪かなとか、悩んでいる場合じゃないですね。

まあ、とにかく。

春締切りの賞については、自分はオール落選でしたが、それはまあ毎年のこと。

春に負けないくらい、秋も新人賞の締切りがたくさんあるので、めげずにまた投稿しようと思います！

こんばんは、らくだです。

ラノベ文芸賞の2次結果が発表された模様です。

なんだか最近、発表の話ばかり書いている気がします、実際に発表が多いのだから仕方ありません。

【ラノベ文芸賞】

http://www.fantasiataisho.com/contest/2nd_bungei.php

応募総数 608作品

2次通過 9作品

通過率 約1.4%

というわけで。

2次通過された皆様は、おめでとうございます。

それにしても、通過率が約1%って、尋常じゃないですね。

しかも1%が受賞じゃなくって、実際は、この後も選考が続くんですから。

これはもう、「狭き門」どころか、まるで「針の穴」レベル……。

まあ、でも。

そこでビビるような心構えなら、最初から投稿なんてしてません。

倍率がどれほど異常でも、それでも書きたいから、こうして頑張っているわけで。

自分もそうだし、小説投稿をしている方は、たぶん皆さんそうでしょう。

こうして厳しい現実を目の当たりにすると、つい心が折れそうになってしまいますが、初心を忘れずにこれからも書き続けたいと思います！

「らくだ図書館が心の支えなので、受賞しても続けてください」という、応援のメールをいただきました。

それなら大丈夫ですよ！

何故って永遠に受賞しませんから！

エターナルワナビ宣言。

ええー、さて。

そんな8月末ですが、本日は色々なところで、新人賞の締切りがありました。

富士見、オバラブ、一迅社、アイリス……。

投稿された皆様は、お疲れ様でした。

先日書いた通り、自分は野性時代に参加したので、発表を楽しみに待ちたいです。

あと、それから。

日ラブの公式サイトを見に行ったら、応募状況が公開されておりました。

それによると、今年の応募総数は、597作品。

男女の比率は「53：47」で、やや男性が多いものの、ほとんど半々だったみたいです。

日ラブさんは今回初参加しましたが、発表の時期は割と早かったと思うので、こちらも更新が楽しみです
ね。

とまあ、そんな感じで。

今年も落選が続いていますが、小説投稿には、引退年齢なんてありません。

冒頭の「永遠」はさすがに言い過ぎですが、自分が心の底から納得できるまでは、落選しても投稿を続けよう
と思います！